



武川町「牧原」交差点 東からの視点
思わず現地を確認めたくなる

知らなければ「まきはら」と
読んでしまう交差点名にも、
きちんと「Maginohara」の文字が



アニメと現地を比較



アニメ



現地

蘆崎のシンボル平和観音



アニメ



現地

小熊が何度となくお世話になるホームセンター「ヤマダデンキ武川店」

巻頭特集

北杜市を舞台にした
女子高生の青春ストーリー

スーパーカブ

制作協力：株式会社 KADOKAWA

北杜市の高校に通う女の子、小熊。両親もいない、友達もいない、趣味もない。何もない日々を平凡に過ごす彼女の生活が、中古のスーパーカブを買ったことで色づき始める。

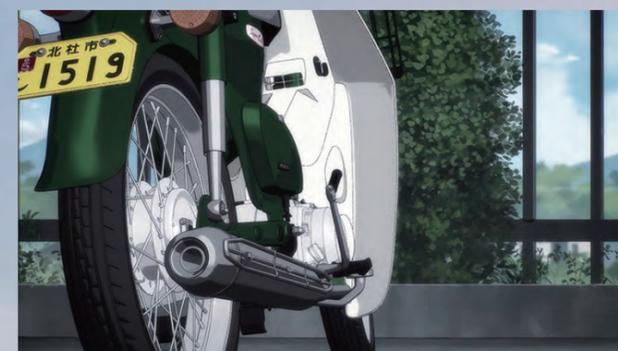
近頃のアニメ作品には珍しく、大きなイベントが起きない、髪の色がカラフルでない、リアルな日常を実に淡々と描いた作品『スーパーカブ』。主人公の初期設定こそ少々特異だが、スーパーカブを手に入れたことで少し変化した日常から新しい世界が広がっていく様と、とにかく穏やかに流れる時間が、違和感なく描かれている。

物語の舞台は、北杜市武川町が中心である。フィクションではあるものの、公式に協力している企業や店舗も多く、武川やその周辺の風景がそのまま描かれているシーンでは、地元を知っていればいるほど、思わずニヤニヤしてしまう。

また、作品のもう一人(?)の主人公である「スーパーカブ」。作品に「ホンダ・スーパーカブ総生産1億台記念作品」を銘打っていることもあり、メーカーの本田技研工業が協力・監修をしていることで、驚くべきほどの精巧さで描かれている。

登場人物のリアルさ、情景描写のリアルさ、メカニクのリアルさ、そして、事件の起きない物語のリアルさ。これらが相まって、近年稀に見るほどの、穏やかで、どこか胸に沁みってくる作品に仕上がっているように思う。

とにかくリアルな描写



マンガやアニメの舞台となった場所を訪れる「聖地巡礼」。「スーパーカブ」もその例に漏れず、各地にファンらしき人たちの姿が見られるようになった。その様子はネット上にも紹介されている。読者の中にも、現地を訪れた方はいらっしゃるのだろうか。見慣れた地元が取り上げられたということもあって、改めて現地を見ると嬉しくなってしまうが、舞台となった場所には、生活をしている人がいるので、くれぐれもマナーを守っていただきたい。

地元がアニメの舞台になる、こんな機会は滅多にないので、存分に作品世界を楽しもう。

聖地巡礼

細部までこだわって作画されており、物語により一層のリアリティを与えている



スーパーカブ

原作はインターネット上に投稿されたトネ・コーケン氏の小説である。2016年に発表され、2017年に書籍化された。同年12月から蟹丹氏によるコミックス版の連載が開始され、2021年4月ついにアニメ放映が始まった。今号が発行された6月21日現在、YBS山梨放送では第10話まで放送されている。



©Tone Koken.hiro/ベアモーターズ

JA 梨北武川支店

スーパーカブの中古部品を
もらう場所として登場

業務の關係上、大きな反響はないですし、独自の対応をしているわけではないですが、ファンの方から聖地が近

2年ほど前に、登場の打診を受けました。休日を中心にファンの方が来られて、遠巻きに写真を撮っていかれますね。それに気がついたときには、外観や裏の倉庫の写真も撮って大丈夫ですと声をかけています。



第9話



本物

くに集まっています。職員に声をかけていただければ撮影していただいても大丈夫ですので、武川まで、ぜひ気をつけて来ててください。

第2話、第9話に登場

スーパーおの

差し入れを買うスーパーとして登場
通学路の風景として登場多数

（高校のモデルが）自分が通っていた学校で、校訓（大事にする心）が同じだとか、細かいところまで忠実に描かれていて、自分の店が出た以上に感動しました。また、ツイッターに、「アニメに出てた店だ」と店舗の写真つきでアップされるようになって、反響の大きさに驚きました。

そのうち、「スーパーおのさん、間違ってますよ」というツイートがありました。第3話で、お菓子の合計金額が違ったんですね。で、軽い気持ちでレジの返金画面と、2円を持った写真を撮って「返金してきます」とツイートし



第2話



本物

たら、すごく反響があつておかげで、かりんとうと五家宝は話題になっています（笑）。これからも、北杜市に来てくれたファンの方が楽しかったと言ってくれるような空間を作っていきたいですね。

第1話～ 多数登場

北杜市役所

運転免許証とナンバープレートを受け取ったシーンに登場

アニメ制作の段階で、ロケ地を巡る際に、当時北杜市観光協会にて窓口を行っていた北杜市フィルムコミッションとして撮影に関わる折衝等を実施していた経緯があります。当時の担当者が一日中スーパーカブに乗ってロケのお手伝いをしていました。

アニメが放映され、様々な方々からお声をかけていただいております。徐々に地域の方にも浸透をしてくれており、「こんなことがしたい！」というお声もいただいております。アニメが地域活性化の火付け役になってくれるのではないかと期待しています。



第1話



本物

北杜市では、現段階でいろいろと計画していることがあります。地域の人たちが主役になれるような動きを目指していきたいと思っています。

第1話に登場



JA 梨北武川支店。第2話で小熊が古いカブからボックスを取り外した場所がこちら。



スーパーおのの店内は、まさに「聖地」。店長の私物の他、ファンの方から送られてきたものも並ぶ。ファンがコメントを残す交流ノートは必見。店長のTwitterではファンとの交流も盛んに行われているぞ。

読者
プレゼント
P.28へ



ここが物語のはじまり

小説『スーパーカブ』第1巻



小説『スーパーカブ』
角川スニーカー文庫 ①～⑦+ 短編集
発売中



コミック『スーパーカブ』
角川コミックス・エース ①～⑤
発売中



アニメ『スーパーカブ』
2021年春 放映中
TOKYO MX、YBS山梨放送 他